

自己紹介

現在と過去の仕事とのつながりで

1

経歴

- 法学・政治学の勉強から図書館情報学の研究へ
- 米国留学(2000.8-2002.5)
 - ニューヨーク州 シラキュース大学
- 東京・国立情報学研究所(NII) (2004.4-2008.12)
- 京都大学附属図書館研究開発室 (2009.1-)

2

研究テーマ・関心

- 政府情報へのアクセス
- 情報政策、文化政策
- さまざまな領域をまたいで...
 - 図書館情報学
 - アーカイブズ学
 - 記録管理学、公文書管理
- 「MLA連携」の動向にも関心
 - Museum, Library, Archives

3

図書館の「研究開発室」とは何か？

- 日本ではいくつかの国立大学図書館に置かれる(下は主な例)
 - 九州大学
 - 名古屋大学
 - 筑波大学(旧・図書館情報大学と合併)
 - 京都大学
- 京都大学での「研究開発室」の仕事
 - 図書館業務全般に関する研究と助言
 - 図書館の将来構想に関する調査と提言
 - 学部学生に対する**情報リテラシー教育(≒図書館利用教育)**

4

なぜ(国立)大学図書館に「研究開発室」が置かれるか

- 図書館の存在感強化の支援
 - 大学の中で
 - 国全体の研究活動の中で
- 図書館の新規事業・新規サービスの開拓
 - 特に電子上でのサービス(機関リポジトリ、目録(OPAC)など)について
- 現場の図書館員では手の回らない領域をカバー

5

国立情報学研究所(NII)とは

- 2000年設立 「独立行政法人」的位置づけ
- 2つの役割
 - 情報学の研究:ソフトウェア開発、情報技術(IT)開発、「情報と政治・経済」の研究 など...
 - 「学術情報」流通の基盤の整備
- 後者の役割と、図書館との関わり
 - 前身の「学術情報センター」(1986年設立)の業務を継承
 - 全国の大学図書館がもつ資料の情報を集約
 - 総合目録作成、相互貸借支援
 - インターネット上での様々なサービス提供

6

NIIのサービス:Webcat Plus (ウェブキャット プラス)

- 特定のテーマに関係しそうな本の検索(連想検索)
- 本の書名、著者名などからの検索
- 目次などの内容の情報
- 所蔵情報

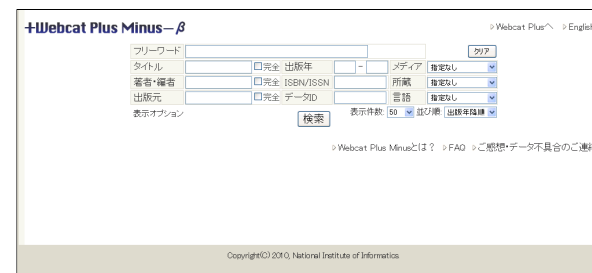


<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

7

Webcat Plus Minus

- Webcat Plusの簡略版
 - こちらのほうが使いやすいかも?
- <http://webcatplus.nii.ac.jp/pro/>



Copyright©2010, National Institute of Informatics

8

NIIのサービス: CiNii(サイニイ)

- 学術的内容をもつ論文の検索(無料)
- 論文本文の入手
 - 論文の種類によって無料が有料
 - 大学が利用について契約し、利用者は無料で入手できる場合も



<http://ci.nii.ac.jp/>

9

最近の著作:『研究ベース学習』 (共著, コロナ社, 2011)

- 大学レベルの「研究・学習の作法」「情報リテラシー」を解説する教科書
- 古賀は第4章「学術文献の探索と評価」を執筆(全5章)



10

古賀として考えたいこと (この授業との関連も含め)

- インターネット時代における図書館の位置づけ・役割
 - 「図書館は本の所蔵・貸出が中心だからネットとは関係ない」では済まない!
 - ネット上のコンテンツのメリット・デメリットを意識しつつ、図書館としてどう活用していくか
- 図書館が扱う資料(図書館資料)の観点から考える
 - ここでの資料は「ネット上のコンテンツ」も含む: 図書館法第3条第1号(「電磁的記録」)参照

11

図書館資料論(0)

図書館の仕事と図書館資料論の範囲

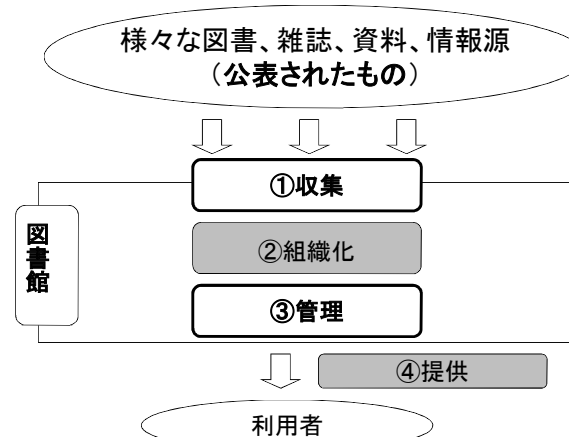
12

図書館の仕事と図書館資料論の範囲

- テキストp. 1,2を参照
- 図書館の仕事: ①収集、②組織化、③管理、④提供
- ↓
- ④=「パブリックサービス」は別科目
 - 図書館サービス論、情報サービス概説、レファレンスサービス演習、情報検索演習
- ①②③=「テクニカルサービス」
 - ②は別科目: 資料組織概説・演習
 - ①③が「図書館資料論」の範囲

13

図示すると...



14

その他の科目の位置づけ

- 「図書館資料論」と「専門資料論」との違い
 - 図書館資料論: 「モノ」の観点から
 - 専門資料論: 「専門分野」「知識」の観点から
- テクニカル／パブリックサービスを含めた、図書館の機能全体にかかわる科目
 - 図書館概論、図書館経営論、児童サービス論、情報機器論
- 図書館の機能をより広い文脈でとらえた科目
 - 生涯学習概論
 - 図書及び図書館史

15

考えるべきポイント(1)

- 「モノ」(本や雑誌など)の取り扱いから「情報」の取り扱いへ
- ↓
- 有益な情報は、本や雑誌の中にあるとは限らない、という現代
- そうした情報はインターネットやデータベースの中にある—**図書館の「外」**に！

16

考えるべきポイント(2)

- 公共図書館政策における「課題解決支援機能」(課題解決型サービス)の強調
 - ...『これからの図書館像』(文部科学省「これからの図書館の在り方検討協力者会議」, 2006)より
 - 「これからの図書館には、住民の読書を支援するだけでなく、地域の課題解決に向けた取組に必要な資料や情報を提供し、住民が日常生活をおくる上での問題解決に必要な資料や情報を提供するなど、地域や住民の課題解決を支援する機能の充実が求められる。」

17

考えるべきポイント(2)続き

- 『これからの図書館像』より
 - 「課題解決支援機能を充実させるためには、利用者が直面する課題や問題を的確に捉え、市販の図書や雑誌だけでなく、地域資料や行政資料等も含め、その解決に必要な資料や情報を広範囲にわたって調査し、確実に収集することが重要である。」

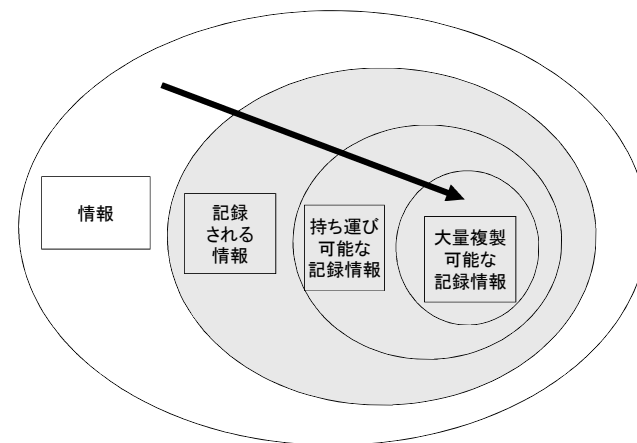
18

図書館資料論(1)

図書館資料の概念

19

情報と記録化



20

記録情報メディアの発展史:「文字」を中心として

※記録情報メディア＝記録情報の「入れ物」

- 「記録」の前提としての「文字」
- 文字をどんな「モノ」に記録するか(書写材料)
→「紙」の有利性、「冊子本」への定着
(持ち運び可能な情報)
- 印刷術と大量複製による記録
→「書物」「図書」「本」
(記録された)知識・情報の伝播・普及
手書き文化から印刷文化へ
※「本」の作り手は比較的限られていた
(印刷・製本の手間 / 本の「権威」)

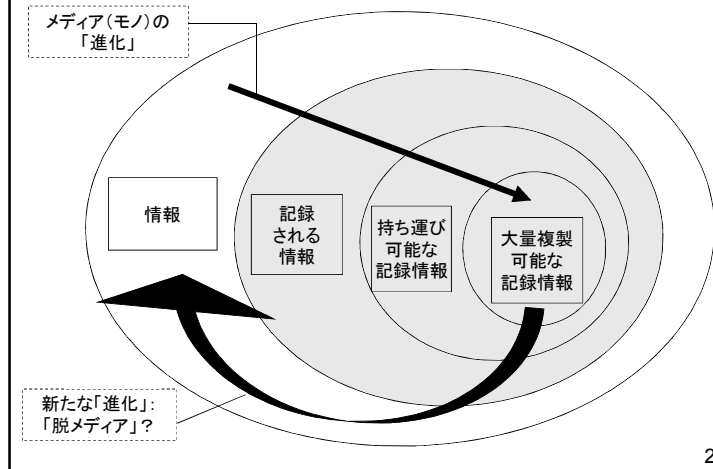
21

「記録情報」の新たな展開

- 文字以外の情報を記録する技術
– 写真、映画、録音→「オーディオ・ビジュアル(AV)資料」
- メディア変換資料
– 同一の情報内容について、記録方法や材料を変えて記録したもの
– 点字資料、マイクロ写真
– パッケージ系電子メディア:CD-ROM、DVDなど
- これらは点字資料を除き、再生機器が必要
(→記録保存の問題をはらむ)

22

情報と記録化(歴史的経過を踏まえ)



23

図書館資料とはなにか

- 「記録情報」の重要性:経験・知識の蓄積・再活用
- → 図書館は、蓄積された経験・知識の共有を可能にする場
- 図書館資料＝図書館が収集し利用に供しようと意図する記録情報メディア
– その多くは公刊(publish)された印刷資料

24

図書館資料と文書館資料

- 文書館資料＝もともと公刊を前提としなかった、個人や組織内部の記録資料
 - 時間的経過により、「歴史資料」として文書館で公開される
- 文書館資料の組織・整理に関する原則
 - 出所(しゅっしょ)原則: 文書の発生源を明確にできるように、文書群を整理する(他の発生源をもつ文書群と混ぜない)
 - 原秩序尊重の原則: 出所を同じくする文書群について、それを生んだ組織の活動体系を反映している原秩序を尊重して保存する(文書の順番やまとまりをできるだけ変えない)

25

図書館資料と文書館資料(続き)

- そもそも、日本では文書館が普及していない
(リスト: <http://www.archives.go.jp/links/index.html>)
 - 国レベルの公文書館: 国立公文書館、外務省外交史料館、宮内庁書陵部など
 - 都道府県レベルの公文書館: 30館
 - 市町村レベルの公文書館: 26館(全市町村の1割以下!)
 - 大学文書館: 広島大、九州大など
- 公共図書館において「文書館資料」を扱うところも少ない

26

文書館の今後

- 「公文書等の管理に関する法律」制定(2009年7月1日) → 2011年4月施行「国の公文書」の管理徹底と、国立公文書館への移管促進を図る
 - 自治体にも公文書管理体制整備の努力義務を課す
- 博物館・図書館・文書館(MLA)連携の動きも
 - 地域資料の側面などで

(参考文献)

小出いずみ・小川千代子編『アーカイブへのアクセス: 日本の経験、アメリカの経験』日外アソシエーツ, 2008.

松岡資明『日本の公文書』ポット出版, 2010.

松岡資明『アーカイブズが社会を変える』平凡社新書, 2011.

27

ネットワーク情報資源

- インターネットは情報の世界に大きな革命をもたらす
 - 誰もが容易に、広範囲に情報発信できる
 - 印刷文化の3つの特性を軸にした比較 (p. 18)
 - 標準化: 特に出版社・編集者の役割(信頼性の保証)
 - 普及性: 大量複製
 - 不変性: 異本(いほん、標準的な「原本」に比べ語句や内容が異なるもの p. 4)の解消
- ↓
- ネットワーク情報資源(電子化文化)は...
 - 普及性の拡大
 - 不変性の縮小(→保存・信頼性の問題)
 - 標準化の縮小(→信頼性の問題)

28

ネットワーク情報資源：図書館でどう扱うか

- 従来の「本」にはない有益な情報があり得る
 - データベース類など
- 「本」のかたちで発行されていたものが、ネットワーク情報資源に置き換わる場合がある
 - 百科事典、辞書、時刻表など
- 図書館がとるべき対応
 - 自由なインターネット利用の場の提供
(「図書館の自由」と同様の論理で)
 - リンクサービスの提供(「資料選択」と同様の論理で)
 - 有料の「ネットワーク情報資源」を契約する必要も生じる
 - ウェブサイトの保存

29

有用なネットワーク情報資源の例
Wikipedia(ウィキペディア 無料の「参加型」百科事典)

秀逸な記事 (→他の秀逸な記事 / つまみ読み / 選考 / 良質な記事) 検索資料

V2ロケットは、第二次世界大戦中にドイツが開発した世界初の軍用液体燃料ロケット(弾道ミサイル)であり、宣伝大臣ヨーゼフゲッベルスが命名した超兵器第2号(Vergeltungswaffe 2)を指す。この兵器は大戦末期、主にイギリスとベルギーの目標に対し発射された。開発名称のAggregat 4(略号:A4 Aggregatは「集計」「凝集体」「ユニット」の意)も知られている。

1927年に結成されたドイツ宇宙飛行協会(Verein für Raumschiffahrt)は、宇宙旅行を目指して1929年頃から液体燃料ロケットを研究していた。……

新着記事 (→他の新着記事 / 投票・権威)

- **平準署**は、奈良時代に設置された官司。常平倉を管理し、物価の安定を図った。左右に分置され、長官は平準令と称した。天平宝字3年5月9日(759年6月8日)に藤原仲麻呂の建議で設置された。……
- **放射能汚染**とは、放射性物質の存在によって望まれない場所や物質(表面、固体、液体、気体、および、人体を含む)が汚染されること、または、その放射性物質の存在を指す。……
- **ラスベガス・ストリップ**は、アメリカ合衆国ネバダ州クラーク郡にあるラスベガス・ブルバード(大通り)の中で長さ約4.2マイル(6.8 km)にわたる部分を指す名称である。……
- **那智参詣曼荼羅**は、熊野信仰の聖地である熊野那智山とその周囲を描い

30

有用なネットワーク情報資源の例
JapanKnowledge + (有料の百科事典データベース)

検索履歴 | ログアウト / ログイン

基本検索 | 詳細検索 | 外部サイト検索

OneLook: 百科事典を(狭)くとする知識コンテンツを一括検索できます

検索

お知らせ

- 2011年6月1日 **New**
「権利辞典」公開!
新たな権利辞典を追加しました。古くから近代的な学術用語まで幅広く言葉を収録した便利な辞典です。和英辞書も掲載していますので日本語からの検索も可能です。
- 2011年5月31日
日本大百科全書(ニッポニカ)が更新されました!
『日本の地名』を別冊として、NHKテレビ番組『日本の地名』と世界遺産1000+、日本大百科全書(ニッポニカ)とニッポニカプラス
- 2011年5月27日
「江戸名所図会」検索機能公開!

クローズアップ:JK

- **江戸名所図会ライブラリ** (5/27UP)
地名・名称などの収録項目の一覧から目的の版を探すことができます。
- **古典文学ライブラリ** (4/20UP)
『源氏物語』『平家物語』など、330古典全編を作品名から進んで読むことができます。
- **日本の地名 Index**
『日本の地名』を別冊として、NHKテレビ番組『日本の地名』と世界遺産1000+、日本大百科全書(ニッポニカ)とニッポニカプラス

OneLookコンテンツ

- **コトバンク** 事例を見る
- **ニッポニカプラス**
- **百科**
- **日本大百科全書(ニッポニカ)** (権利)
- **ニッポニカプラス**
- **日本語**
- **日本国語大辞典** (権利)
- **デジタル大辞泉**
- **字源** (権利)
- **教えるの辞典**
- **歴史**
- **国史大辞典** (権利)
- **日本歴史地名大系** (権利)
- **龍でも読める日本年表** (権利)
- **江戸名所図会** **New** (権利)
- **英語**
- **クラムハイス英和大辞典**
- **ウェブ辞書** 英和辞典

31

リンクサービスの例
広島市立図書館 お役立ちリンク

お役立ちリンク集

- ▶ **ビジネス関連リンク集**
- ▶ **健康・医療関連リンク集**
- ▶ **広島関連(郷土)リンク集**
- ▶ **その他くらしに役立つリンク集**

▶ **ビジネス関連リンク集**

- ▶ **健康・医療関連リンク集**
- ▶ **広島関連(郷土)リンク集**
- ▶ **その他くらしに役立つリンク集**
- ▶ **注目情報リンク集**

▶ **ビジネス関連リンク集**

- ▶ **健康・医療関連リンク集**
- ▶ **広島関連(郷土)リンク集**
- ▶ **その他くらしに役立つリンク集**
- ▶ **注目情報リンク集**

▶ **ビジネス関連リンク集**

- ▶ **健康・医療関連リンク集**
- ▶ **広島関連(郷土)リンク集**
- ▶ **その他くらしに役立つリンク集**
- ▶ **注目情報リンク集**

32

リンクサービスの例

鳥取県立図書館 仕事と生活に役立つリンク集

トップページ > 資料・情報の探し方 > 仕事と生活に役立つリンク集

仕事と生活に役立つリンク集

鳥取県立図書館で利用できるデータベース
データベースの紹介
ビジネス支援関連情報
就業・転職・起業・創業
ビジネス支援関連情報
就業・転職・起業・創業
ビジネス支援関連情報
就業・転職・起業・創業
生活に役立つ情報
医療・健康・生活困りごと
図書・図書館・出版に関する
雑誌・雑誌記事・研究論文
日本海交流関係
その他役立つ情報
児童・青少年関連情報
鳥取県立図書館
鳥取県立図書館

就職・転職
鳥取県内のハローワーク
ハローワーク鳥取、ハローワーク倉吉、ハローワーク米子、ハローワーク根雨出張所
ハローワークインフォメーションサービス
求人情報検索、お役立ち情報など
ふるさと鳥取認定機構
鳥取県への就職・定住支援サイト
とよみ実習生センター
若年者の早期就職や職場定着の促進を図るため、若年者が就職支援などをワンストップで受けられるセンター（通称ジョブカフェ）として鳥取県が設置。
鳥取県職員採用試験情報
鳥取県入事委員会のホームページ。
地方公務員採用試験案内情報
公務員の情報をとくに(財)地方自治情報センターが作成したホームページ。
とよみ実習生の職場サイト
鳥取県福祉人材センターが開発するホームページ。
鳥取県高齢・障害者雇用促進協会
高齢者及び障害者の雇用促進のための業務を展開
鳥取県高齢者就業支援センター
「仕事を希望し、おおよそ40歳以上の在職中の方」、「定年を間近に控えている方で定年退職後の再就職をめざす方」のための求職情報あり。
リンク情報まとめ
仕事を希望し、インターネットを活用して、民間の職業紹介会社、求人情報提供会社、ハローワーク等の参加機関が保有する求人情報を検索し、仕事探しを支援するしくみ。

33

ウェブサイト保存の取り組みの例

国立国会図書館 インターネット資料収集保存事業

簡易検索
(書誌情報のタイトル、編者、公開者(出版者)、記号URLと本文情報の本文、ページタイトルが検索できます。)
URLからの検索する場合は、書誌、本文検索をご利用ください。

検索 クリア

キーワード

コレクション種別
 国の機関 都道府県 政令指定都市 市町村 市町村合併
 法人・機構 大学 イベント 電子雑誌

収集日付範囲
年 月 日

お知らせ RSS 著作権別で検索する

東日本大震災ウェブアーカイブ
はじめてご利用される方
消失したウェブサイト

34

「消失したウェブサイト」の提示: 広島県内の合併前の市町村

WebArchives
プロジェクト
国立国会図書館 インターネット資料収集保存事業
National Diet Library, Japan Web Archiving Project

消失したウェブサイト - 広島県

所連市・瀬戸町合併協議会
広島市・海田町合併協議会
呉東城合併協議協議会
倉敷市
倉敷市
川尻町
豊浜町
豊野町
豊野町

35

保存されているサイトの例: 広島県布野村(現・三次市)

広島県 布野村
FUNOSON
Official
Homepage

ニュース・トピックス
平成一六年三月三十一日撮影
布野村の花ふし(布野村役場前)

布野村は、平成16年3月31日に115年の歴史に幕を閉じ、平成16年4月1日(三次市・双三郎町・若田村・作木村・三良坂町・吉舎町・三和町)・甲奴郡甲奴町と合併し新生三次市の布野町としてスタートをきりました。
当ホームページは平成13年10月1日から運営してきましたが、平成16年3月31日をもって更新を停止しました。
布野の情報を含む新三次市のホームページのアドレスは次のとおりです。
<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/>
当ホームページへご意見いただいた皆さまありがとうございました。

さんそんネットホームページ開設
『布野村誌(通史編)』が完成

36